

地下水都市熊本における2016年熊本地震が地下水を含む地域水循環系に与えた影響の科学的解明を目指して

For the scientific understanding of the effect of 2016 Kumamoto Earthquake to the local hydrological flow system including groundwater resources

*嶋田 純¹

*Jun Shimada¹

1. 熊本大学大学院先導機構

1. Emeritus Professor, Kumamoto University

気象庁震度階級が制定されてから初めて震度7が2回観測された2016年4月の熊本地震から2年余りが経過した。地震発生直後に観察された、湧水池の枯渇や地下水位の低下・上昇といった、地域水循環系に変化をもたらした原因が明らかにされつつある。また、地震前後での地下水の水質変化の実態も明らかにされつつある。実際、熊本地域に100点以上設置されている地下水観測井からの水位モニタリング情報は、直下型地震による水文環境への応答を高解像度でトレースできる世界でも稀な条件を備えており、ここでの研究成果は世界の同研究領域に大きなインパクトを与えることが期待される。本セッションでは、熊本地震による水文環境変化について、地下水位・河川流量変化、深部流体寄与、水質・各種同位体、水温プロファイルや菌叢など、幅広い観点からの研究成果発表について、地震予知や地殻構造・表層地形変化など、地震学や構造地質学、地形学的な観点から特に地下水・地表水等と関連した研究成果も招待講演として発表頂くことで、関連研究者間の情報交換の場となることを期待している。

キーワード：2016年熊本地震、水循環系、地下水

Keywords: 2016 Kumamoto earthquake, hydro-logical flow system, groundwater